



榊の榊

「学校教育目標」
 絆を深め、地域社会に
 貢献できる生徒の育成
自ら学ぶ 思いやる
体を鍛える

文責 竹田 圭志

学校再開（6月1日）に向けて

新型コロナウイルス感染防止の措置としての臨時休業がようやく5月末で終了します。正直、休業がこのような長期に及ぶとは、想像しておりませんでした。度重なる休業の延期に、生徒や保護者、地域の皆様にご心配とご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。そして、様々な面でのご支援とご協力に感謝申し上げます。

さて、3か月にわたる長期休業中、生徒の皆さんはどう過ごしていたのでしょうか。週1回の登校日で顔を合わせたときは、とても明るく元気に挨拶をしてくれました。とはいえ、過去に経験のない自宅での生活は、想像以上にストレスだったのではないのでしょうか。もちろん、保護者の皆様のご苦勞も想像を超えるものだったと思います。

あと数日でいよいよ学校が再スタートを切ります。

学校は再開しますが、まだまだ従来通りの学校生活とはいきません。お互いに思いやりを持った言動が必要になります。今後、一番心配なのは、社会的距離（ソーシャルディスタンス）の確保ができるかどうかです。久しぶりの再会です。大声で「元気だった～」と挨拶、ハイタッチや親しみを込めたボディタッチもしたいところだと思います。

それをしないことが学校再開の条件ですし、第2波、第3波の感染拡大防止につながります。マスクの着用や手洗いやうがいの徹底もお願いすることになります。

本日、生徒を通してお渡しした「学校再開後について」「学校再開に向けた榊台中学校の対応」のプリントに、再開後についての詳細を記載しております。子供たちの笑顔あふれる安全で安心できる学校生活を確保していくためにも、普段とは違ったルールやマナー、モラルが必要になります。ご理解とご協力をお願いいたします。

どんな気持ちも大切

生徒の皆さんの中には、長い休業が終わり、学校が再開されることに對して、不安を持ったり、乗り気がしない人がいるかもしれません。これは、多かれ少なかれ、誰もが感じているのではないのでしょうか。我々教職員も少なからず感じているのでは？ 少なくとも私には不安があります。きっと、自宅でのテレワークから会社出勤に戻る社会人も同じだと思います。

その気持ちに押しつぶされないようにしていきましょう。部活動もなく、ほとんど友達とも接してこなかった時間がこんなにも長かったんです。しかも、1年生は、まだ1時間も中学校の授業を受けていません。みんな顔には出さないだけで、当然のこと、「あ～学校か～」という気持ちはあるものです。その気持ちを持つこと自体、何も特別なことではありませんし、後ろめたさを持つ必要もありません。ただ、その気持ちを自分一人で抱えてしまわないようにしてほしいのです。学校には、そんな皆さんの悩みを聞いてくれる、さわやか相談員の門倉先生がいます。養護教諭の福島先生もも親身になって相談に乗ってくれます。スクールカウンセラーの長尾さんは、心配を抱えている生徒とはオンラインで顔を見ながらのカウンセリングも考えてくださっています。そして、何より、皆さんのそんな気持ちを痛いほどわかっている担任の先生や学年の先生、部活顧問の先生がいます。

最後に、私は、こういう状況の中、「登校は急がなくていい」と思っています。保護者の皆様も、お子さんの気持ちを受け止め、理解することからスタートしてみてください。

もちろん、教職員一同、生徒の皆さんと顔を合わせる日を楽しみにしています。



感謝の気持ちでスタートを

この臨時休業中、本校教職員は、電話で生徒とコミュニケーションをとったり、家庭訪問でプリントを配布したり、学習課題の作成・回収・点検・返却をしたり、可能な限りの情報の発信をしたり・・・と、姿の见えない子供たちの「思い」を大切に、教師の「思い」を届けるために、心のこもった対応をしてくれました。私から申し上げるのも恐縮ですが、素晴らしい教職員に恵まれていることを再認識できた臨時休業でもありました。



登校日に備え、各教科から出された課題プリントを袋詰めする先生方。

学習面での支援だけではありません。生徒の皆さんが登校した時のおもてなしのために、いろいろな取組がありました。校務員の外山さんが校地内の除草作業を丁寧してくれました。1学年主任の齋藤晋也先生がグラウンドの除草や3年生教室前にある学校ファームの耕起をしてくださいました。養護教諭の福島先生がトイレや水道前の待機場所マークの設置。中根教頭先生、斉藤岳先生、宇田川先生が花壇にサルビアとマリーゴールドを植えてくださいました。全教職員で多目的室を教室として使う机やいすの移動、床のワックスがけ、下駄箱やトイレ、エアコンの清掃、掲示物の作成、プランターの花の植え替え・・・。



耕運機で学校ファーム(花壇)を耕す齋藤晋也先生

また、この臨時休業中、教職員以外にも子供たちのために、たくさんの皆様が協力してくださいました。PTA理事の皆さんは、こんな状況の中、今後の活動に支障が出ないようにと、PTA総会資料を作成し、紙上で開催する総会を進行してくださいました。登校日に生徒を通して配布しましたので提出をお願いいたします。給食センター職員の皆様が、センターの業務の合間に、草刈りなどの学校の環境整備をしてくださいました。例年、学校林の下草など急斜面の草刈りをお願いしている増田造園さんが、畑の土壌改良に最適な木材チップを届けてくださいました。

多くの皆さんに支えられて学校が再開します。生徒の皆さんには、その「思い」をしっかり受け止め、これからの学校生活を通して感謝の「思い」を形にしてくれることを期待しています。それが、今年の「目指す生徒像(学び、鍛え、尽くす生徒)」につながります。

<6月上旬の予定> ※社会情勢や本校の実態に応じて変更があるかもしれません。

- 1日(月) 学校朝会(8:25開始)、3時間授業(学活)、給食・部活なし、最終下校12:00
- 2日(火) 3時間授業(学活)、1年健康診断、給食なし、部活なし
- 3日(水) ~5日(金)
6時間授業(教科授業スタート)、給食・部活なし、弁当持参、最終下校16:10
- 4日(木) 3年健康診断
- 8日(月) この日以降、平常授業、給食あり(簡易給食? : 必要に応じメールで連絡します)
- 9日(火) 専門委員会 10日(水) 生徒朝会
- 13日(土) 土曜授業(変則日課: 月1234の授業)、最終下校12:20
- 16日(火) この日以降、部活動再開(2年生、及び3年生の継続希望者) 最終下校17:30
- 17日(水) 1年生、仮入部期間開始(土日除く26日まで) *29日(月) 入部届提出

※登下校時のマスク着用は無理なく、体調や気温で判断してください(熱中症予防を優先に)
※8:00以前の登校はできません(玄関開錠8:00)

私の子供がまだ幼い頃に人見知りや激しい時期があり、イライラして子供に強く当たってしまうことがありました。その時、同僚の先輩教師から、「周りを気にして本当に大丈夫かどうか状況判断することが、動物が生き残るための知恵なんだよ。人見知りは、そういう知恵が備わっている証拠だから。逆にとても素晴らしい能力なんだよ。」と声をかけていただき、とても気持ちが楽になったことを思い出します。どちらかという、「谷に落として這い上がってくるのを待つ」が親としての教育だと思い込んでいた私にとって、目から鱗(うろこ)が落ちた瞬間でした。

子供たちには、いろいろなタイプが混在しています。でも、学校は、弱肉強食の世界ではなく、共存世界です。弱者の気持ちに寄り添い、理解し、認め、支え合う。「生徒同士の思いやりのある人間関係」こそが、最も大切なことだと思います。